

令和4年度 第18回全体庁議（2月2日開催）

区分	審議・報告	案件名 (担当部)	(4) 帯広市自転車活用推進計画（案）について[経済部]
----	-------	--------------	------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

国では、平成28年、交通、環境、健康増進等の新たな課題に対応するための自転車の活用を総合的かつ計画的に推進する基本となる事項を定めた「自転車活用推進法」を制定した。

帯広市においては、これまでも交通安全教室の実施やサイクルイベントの開催支援などによる自転車活用を推進し、十勝広域としてもモデルルート の策定やサイクリストの受入環境整備などを進めてきた。こうした取組等が評価され、令和3年5月にJR帯広駅を起終点とするサイクルルート「トカプチ400」が国からナショナルサイクルルートに指定され、観光振興や健康増進など、幅広い分野で自転車活用の可能性が高まってきた。

そのため、自転車の活用及び安全な利用をさらに推進する「帯広市自転車活用推進計画」の策定に向けて、原案についてパブリックコメントを実施したことから、その結果及び計画案について、令和5年2月14日の経済文教委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 パブリックコメントの結果について

案件名:帯広市自転車活用推進計画(原案)
実施期間:令和4年12月6日(火)～令和5年1月6日(金)
意見の件数:0件

2 計画策定の趣旨(原案から変更なし)

帯広市自転車活用推進計画は、自転車の活用及び安全な利用をさらに推進するため、市の自転車を活用した施策の基本となる事項を定めるもの。「自転車活用推進法」に基づく市町村自転車活用推進計画として位置付けるものであり、第七期帯広市総合計画の分野計画として、帯広市の自転車に関する政策に関する最上位の計画として策定するもので、計画期間は2023年度から2032年度末までの10年間とする。

3 現状と課題(原案から変更なし)

- (1)自転車利用の多い路線の自転車通行空間の連続性が確保されていない
- (2)成人における自転車ルール の学習機会や自転車利用機会が減少している
- (3)約4割に運動習慣がない
- (4)過度な自動車依存
- (5)初心者が参加しやすいイベントの不足
- (6)「トカプチ400」がナショナルサイクルルートに指定

4 施策の体系(原案から変更なし)

現状や課題、関係団体等からの意見を踏まえ、目指す姿と4つの目標の下、施策を展開する。

- ・目指す姿:誰もが安全・快適に、楽しく自転車を利用できる地域を目指します。
- ・目標 1:安全な自転車通行空間の創出
- ・目標 2:安全・安心な自転車利用の普及啓発
- ・目標 3:多様なサイクルスタイルの支援
- ・目標 4:地域の魅力を活かしたサイクルツーリズムの推進

■今後のスケジュール

- ・令和5年2月14日 経済文教委員会（計画案報告）
- ・令和5年3月 計画策定

■ 審議結果

- ・同内容で、2月14日経済文教委員会へ報告することで了承された。

■ その他、指摘事項等

- ・特になし